

祝 卒業



校長
藤原 政広



副校長
竹原 義和

「夢の途中」
3年生の皆さん、卒業おめでとう。すべての卒業生が清瀬高校での3年間の学びを経て大きく成長し、また一步、夢の実現に近づいたことだろう。今後もそれぞれの道で夢の実現まで先を見据えて、いつの日かその夢を実現できる日がきどくことを信じて、これからも勉強を続けてほしい。最後に、ラグビーワールドカップ日本代表の福岡堅樹選手の言葉を贈る。「自分の夢には妥協したくない。後悔のない選択をしていった先にあるのが、結局、自分になりたかった自分になれる。」

卒業おめでとうございます
society5.0、singularity、AIの時代がやって来る。でも、どんなに時代が進んでも私たちの悩み事は万葉集の時代と同じで、恋愛だったり人間関係だったりする。不思議な生き物ですね、人間は。学生時代に得た友人は一生の宝物。それは就職して初めて実感すると思います。今、隣にいる友達を大切に卒業してください。皆さんは10年後、どんなことをしている自分を想像しますか。卒業おめでとうございます。▲Defying Gravity!▲



3年2組担任
羽生 妙子

「夢に向かって」
いよいよ夢に向かって新しい出発です。どこに進路が決まったとしても大切なのは、そこでどう頑張っていくかです。なりたい自分になるために貪欲に勉強して、自分の世界と可能性を広げていってほしい。これからぶつかる問題には今までのように正しい解答はないでしょう。自分の頭で考えて、行動して、自分の答を見つけて下さい。卒業おめでとう。そしてありがとう。かけがえのないこの3年間は私にとっても宝物です。



3年4組担任
甲斐 由紀子

「清瀬高校45回生の皆さんへ」
ご卒業おめでとうございます！
いよいよ、それぞれの道へ、自分の力で進んでいくときが来ましたね。皆さんと過ごした3年間は、私にとっても中身の濃い、成長の3年間でした。皆さんは、清瀬高校で得た仲間や思い出を大切にしながら、自分の人生を、もともと豊かに楽しく生きていってほしいです。なかなか会えなくなるのは淋しいですが、さらなる成長を遂げたみなさんに会えるのを楽しみに、これからも応援続けます。



3年6組担任
佐藤 昌治

「卒業という名の旅立ち～あど何度卒業があるのか」
ご卒業おめでとうございます。入学してから3年の月日が経っちゃいましたね。おそらく今、その実感は全くない……でしょう。それが当たり前ですが、あど数か月経つとどうだろう？過ぎ去った時間よりも今は新たな旅立ちに心を躍らせているところでしょう。でも、あ、俺（私）卒業したんだあって、もう高校生じゃないんだって気づく時がある。その時はい～ばい、清瀬高校での思い出に浸って下さい。どんな時も君たちは輝いていましたよ。これからも自分を輝かせて。



3年8組担任
福家 健司

「自分の可能性を信じる!!」
卒業おめでとう！高校生活がめでたく終了し君たちはそれぞれ別の道に進んでいきます。君たちの自己実現（夢）への道のりは、大半が思うとおりに行かないと思います。それでもあえて言います！「夢」は叶う！！と。たぶん壁にぶつかったときに、周りには「言い訳」がたくさん転がっています。多くの人はその「言い訳」を集めて自分で妥協点を見つけ出します。それでも最後まで変われる自分を信じて少しずつでも前に歩を進めるか！！君たち一人ひとりの「想い」しだいです。君たちの可能性を信じています。健闘を祈る！



3年1組担任
柏木 信幸

March winds and April showers bring forth May flowers.
(イギリスの諺) 3月の風と4月の雨が5月のバラを運んでくる

3月の風は季節の変わり目で非常に激しく吹きます。4月の雨はまだまだ冷たい雨です。でもそんな厳しい気候だからこそ、5月に咲く花は美しいのです。卒業おめでとう！



3年3組担任
江藤 徹

「夢の途中」
さよならは別れの言葉じゃなくて、再び会うまでの遠い約束。夢のいた場所に未練残しても心寒いだけさ。スーツケースいっぱいにつめこんだ希望という名の重い荷物を君は軽々と持ち上げて笑顔を見せるだろう。いつの日にか僕らのことを思い出すがいい。ただ心の片隅にでも小さくメモして。乾杯/いま君は人生の大きな大きな舞台に立ち/遙か長い道のりを歩き始めた/君に幸せあれ！



3年5組担任
篠原 大亮

「旅に出よう」
大学1年の夏、外国の一人旅が怖かった私はある旅人に勇気づけられた。2週間後、私はバックパックを背負い一人タイにいた。近隣の観光大国とはいえ、金も勇気も要る。欲しい服を諦め、バイトの店長に嫌がられ、現地ではぼったくられ、男性にナンパでやたら追い回された。でも、そこは確かに日本とは違う世界だった。私はあの小さな勇気があったから、今の私があると信じている。きっかけはなんでもいい。勇気を出して外の世界へ出よう。心地良い環境にだけ身を置いてはいけないよ。卒業おめでとう。



3年7組担任
星野 尚子

「自分の物語を紡ごう」
卒業おめでとう！自分で選んだ道を自分の足で歩む時が来ました。きっと平坦な道ばかりではないでしょう。でも、いろいろな経験が人を成長させてくれます。どんなときも自分の力を信じて、自分らしく、前へ。些細なことでもいい、自分しかできないことをする人生にしていきたいと思います。人は一人ひとり皆違います。違うからこそ良いのだと信じています。是非自分だけの物語を紡いでいってください。最後に、皆さんの思い出をありがとう。



光り輝け 十人十色
たくさんの笑顔と
たくさんの思い出を

第四十七回合唱コンクール
都立清瀬高等学校